

令和2年度 入間東部むさしの作業所事業報告
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

はじめに

今年度は、新型コロナウイルスの影響が大きく利用者の生活にも支障を来たしました。そんな中でも、事業所として通常通り開所することで利用者の生活を守り、影響も最小限度に留められたと感じています。一方で職員の業務量や精神的緊張感、負担感は増大したなかで一丸となり乗り越えてきました。

就労継続支援では、生産活動への影響が大きく新たな業務拡大、新事業へ積極的な営業活動を行いました。新たな事業として、国有地や市有地の草刈り業務を受託しました（越谷ハローワーク等4カ所、富士見市健康増進センター）。マスクの製造販売、花の無人販売やJAいるま野販売所での取引を開始しました。また、富士見市花いっぱい・笑顔いっぱい事業で公共施設へ花を飾っていただきました。関係機関のご協力、職員一丸となった営業活動で売り上げ減少も最小限に留められ、利用者へ安定した作業を提供することができました。

就労移行支援では2名の就職者を出すことができました。

広報活動として、日本知的障害者福祉協会発行の機関誌『SUPPORT 3月号』に記事を掲載していただきました。また、富山県工賃向上研修会でオンライン講演を行いました。

文京学院大学（田嶋先生、武田先生）と当作業所で職員の人材育成に関する共同研究を実施しました。

1 支援の充実について

(1) 就労継続支援B型事業

今年度も引き続き、目標売上額を設定して生産活動の充実および利用者個々に合った支援の充実を図りました。

ア 園芸部

今年度事業方針に沿って事業を推進しました。生産について、ロスを減らすため、過去のデータから必要な数量を生産して支出を抑えるなどコスト管理を徹底しました。また、昨今の気象状況に合わせた栽培方法での生産を行いました。技術指導については、引き続き松岡園芸と技術指導契約を結び専門的な指導を受けました。年間生産量も20万鉢を越える花苗を生産することができ川越、鴻巣、板橋、青梅の花市場への出荷を行いました。

販売については、二市一町を中心とした学校・保育所・幼稚園等への納品の他、和光市、朝霞市、新座市、志木市、所沢市、さらに都内の学校へとエリアも広げました。

イ 製造部

受託作業、施設外就労（株）富澤）を中心に支援を行いました。施設外就労では、緊急事態宣言以降、人数制限がかかり大幅な縮小となりました。受託作業では、健康食品のDM封入作業、雑誌付録の解体、カレンダーの解体を実施しました。

ウ フラワーショップ『ふれんず』の運営

今年度も引き続き、三芳町にフラワーショップ「ふれんず」を運営してきました。緊急事態宣言等に合わせて休業しました。休業に合わせて、無人販売所を設置して売り上げ確保に努めました。

（２）就労移行支援事業

就労移行支援では、引き続き、特別養護老人ホーム内の清掃（（福）埼玉療育友の会はるな苑）、タオル工場での選別作業（山一商事株式会社）、本の仕分け作業（株）富澤）の受託や富士見市びん沼荘での実習を行ない、企業の現場で働くことでより実践的な支援を行ないました。また、今年度の実績として2名が一般就労へ結びつきました。就労した利用者へのフォローアップとして企業への定期訪問を行いました。

ア 関係機関との連携

利用者が安定的、継続的に職業生活を営むには関係機関との連携が必要不可欠なため、定期的にハローワークとのチーム支援や地域の就労支援機関との連携を引き続き強化してきました。今年度もむさしの作業所が主催し『入間東部地域障がい者就労支援連絡会』を1回開催しました。

イ 家族との連携

利用者が職業生活を継続するためには家族の協力が必要不可欠です。そのため、家族との定期的な面談や3ヵ月ごとの支援計画の作成・見直しを行い信頼関係の構築に努めました。

ウ 職員の資質の向上

就労移行支援事業はより専門性の高い支援を求められることから、厚生労働大臣が定める職場適応援助者（ジョブコーチ）の資格を持つ職員2名配置しています。また、必要に応じて外部研修会への参加や地域の連絡会等に出席し情報収集、知識・支援技術の向上を図りました。

エ 就労実績

- ・（株）フレッシュサービス
- ・（有）山誠商事

（３）生活介護

今年度から事業を開始しました。支援内容は、就労継続支援の事業を継続し、個々のニーズに合わせてゆとりある作業を中心としました。今までの作業を継続

する形での支援だったこともあり、大きな混乱はありませんでした。

(4) 生活支援

利用者の様々なニーズや課題を共有し連携を深めるためケースワーカー・支援機関、医療機関等との連携に努めてきました。地域のグループホームを利用される人が年々増えていき現在23名になりました。また、利用者の高齢化が進み1名お亡くなりになりました。

ア 自治会活動

今年度も、行事中心的な取り組みや日頃利用者が感じている意見交換の場として取り組みました。また、ゴミの減量化に向けた廃品回収を実施し自治会活動費の確保、自治会役員選挙、バーベキュー大会も継続して行いました。

イ 文化・余暇活動

利用者の文化活動・余暇活動をより豊かに潤いある生活を支援するために、クラブ活動（音楽、料理、健康、映画）、バーベキューの開催等に取り組みました。隔年実施の一泊旅行へ10月29、30日に埼玉県立伊豆潮風館へ行きました。全館をほぼ貸し切りにしてもらい、感染対策を行いながら実施しました。

ウ 食事マナーの実施

毎月給食目標を設定し偏食に対する指導・啓発の実施、食事場面での利用者に対する食事マナーの支援・改善に努めました。

エ 健康増進

歯科医師・歯科衛生士による歯科検診ブラッシング講習会は中止になりました。定期健康診断は実施しました。その結果を保護者へ連絡し、適切な処置・支援に努めました。

オ 関係者との連携

今年度のケースワーカーとの定期協議は書面で実施し、利用者の情報交換を行いました。特に支援に困難があるケースについてはケースワーカー、他のサービスを利用したり、それぞれの事業の専門性を活用し相互で情報交換・調整・連携を図りながら支援の充実を図りました。

(4) 通所支援

ア 自転車・徒歩・公共交通機関を利用して自力で通所している利用者に対しては交通安全、公共交通機関でのマナー等を支援しました。

イ 送迎バス・ワゴン車を利用して通所している利用者に対しては、指定された集合場所への集合・帰宅に際し、交通安全に対して支援をしました。

2 円滑な運営管理と業務の推進について

(1) 二市一町の共同設置・共同運営の基本に立ち、具体的な取り組みを推進するため

に、障がい福祉担当課と連携し施設運営を進めてきました。

- (2) 施設・備品等の整備については、必要性を十分考慮して対応しました。
- (3) 利用者に対し統一的な支援をするために、職員の研修への参加、自主研修などを積極的に行ってきました。また、定例の職員会議や臨時に職員会議を開催し、施設運営や支援技術など話し合い利用者の支援にあたりました。
- (4) 定期健康診断を実施し、利用者の健康状態を把握し治療などに対応するため保護者との連携にも努めてきました。
- (5) 防災訓練の実施や作業所の危険防止・安全対策、所外活動を通じての交通安全対策等に努めてきました。
- (6) 東日本大震災を受けて備蓄品の確認、備蓄食料を購入更新しました。
- (7) 埼玉県虐待禁止条例に基づき、全職員対象にオンラインで虐待防止研修会を実施しました。

3 保護者会との連携について

- (1) 保護者会等で作業所の事業計画や方針などを説明し、作業所の諸行事の実施にあたり、保護者会と相互に協力し合い連携を図ってきました。

4 地域との連携について

- (1) 福祉系大学からの依頼を受けて、実習生の受け入れを実施しました。また、オンラインでの講義を行いました。
- (2) ボランティアについては受け入れを中止しました。
- (3) むさしの作業所の自主イベントを2回開催しました。規模を縮小し花の販売のみ行いました。
- (4) 富士見特別支援学校の就業体験学習を実施しました。途中で中断となりました。

5. 日中一時支援事業

今年度の2名の利用がありました。

6. 指定特定相談支援事業

計画的にサービス等利用計画の作成、モニタリングを実施しました。

令和2年度業務報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1. 利用者の状況 (令和3年3月31日現在)

(1) 地域区分

(単位：人)

地域	富士見市	ふじみ野市	三芳町	その他	合計
就労継続	39	11	8	0	58
就労移行	4	1	0	0	5
生活介護	4	4	0	1	9

(2) 障害の程度

(単位：人)

	○A	A	B	C	非該当	合計
男性	5	15	23	3	11	57
女性	0	4	10	0	1	15
合計	5	19	33	3	12	72

(2)-2 障害支援区分

(単位：人)

就労継続	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	非該当	合計
男性	0	6	12	4	1	0	21	44
女性	1	3	1	1	3	0	5	14
合計	1	9	13	5	4	0	26	58

就労移行	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	非該当	合計
男性	0	1	0	1	0	0	3	5
女性	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	0	1	0	0	3	5

生活介護	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	非該当	合計
男性	6	2	0	0	0	0	0	8
女性	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	6	2	0	1	0	0	0	9

2. サービス利用状況 (令和3年3月31日現在)

サービス名	開所日数 (日)	延べ利用率 (人)	1日の利用平均 (人)
就労継続	303	11,336	37.4
就労移行	243	1,186	4.8
生活介護	247	1,643	6.6
日中一時支援		33	

3. 工賃支給状況

	平均工賃月額	支払人数
就労継続支援B型	22,708円	58人
就労移行	9,321円	5人
生活介護	15,406円	9人

4. 支援活動

(1) 園芸部の取り組み

- ・ 富士見市・三芳町と公園花壇の植栽管理契約を結び公園等植栽を実施
(4月・5月・6月・7月・8月・9月・11月・12月)
- ・ 公園花壇植栽用の花、一般販売用の花を年間通して育成
(ペチュニア、ひまわり、マツバボタン、ハボタン、パンジーなど)
- ・ 各種イベントでの販売を実施
- ・ フラワーショップ「ふれんず」の運営

(2) 製造部の取り組み

- ・ 健康食品箱詰め、DM封入封緘作業
- ・ 施設外就労(本の裁断業務、(株)富澤)
- ・ むさしの作業所まつりの開催(ふじみ秋まつり11月7日、おい秋まつり11月14日)

5. 運営管理業務

- (1) 職員会議(年7回)・保護者会(年1回)
- (2) ケースワーカー定期協議(書面にて報告)
- (3) 害虫駆除(年2回)、消防設備点検(年2回)、雑排水清掃(年1回)
7月22日 避難訓練(避難・通報・消火訓練)
3月18日 避難訓練(避難・通報・消火訓練)

6. 研修について

- 8月2、9、23日 強度行動障害支援者養成研修
- 11月18日 安全運転講習会
- 1月19日、2月3日 強度行動障害支援者養成研修
- 3月24日～ 虐待防止研修会(オンライン)

7. 地域との連携

なし(イベント関係)

8. 視察・見学・講師派遣

1 1月13日 富士見市市民後見人口座（富士見市社会福祉協議会）

3月 4日 富山県工賃向上研修会

9. 実習生受入

(1) 特別支援学校等 5名

(2) 社会福祉士等実習

・文京学院大学（3名） ・浦和大学（3名） ・山村学園短期大学（4名）

10. ボランティア関係

なし